

令和7年度

事業報告書・決算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

令和7年度事業報告書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

1. 運営の部

(1) 理事会

① 令和7年度第1回通常理事会

開催日：令和7年4月26日（土） 於 上野精養軒

② 令和7年度第2回通常理事会

開催日：令和8年2月21日（土） 於 上野精養軒

(2) 社員総会

令和7年度定時社員総会

開催日：令和7年5月24日（土） 於 上野精養軒

(3) 青少年オーケストラ委員会

① 令和7年度青少年オーケストラ委員会役員会

開催日：令和8年3月27日（金） 於 国立リリック記念青少年総合センター

② 令和7年度青少年オーケストラ委員会総会

開催日：令和8年3月28日（土） 於 国立リリック記念青少年総合センター

2. 事業の部

(1) 第53回全国アマチュアオーケストラフェスティバル福井大会

令和7年9月12日（金）～9月14日（日） 於 福井県立音楽堂

(2) 高円宮殿下メモリアル第26回日本マスターズオーケストラキャンプ

令和8年1月10日（土）～12日（月・祝） 於 京都市北文化会館

(3) 第42回トヨタ青少年オーケストラキャンプ

令和8年3月26日（木）～29日（日） 於 国立リリック記念青少年総合センター

令和8年3月29日（日） 於 サントリーホール

(4) 国民文化祭2025 「オーケストラの祭典」オーケストラで奏でる平和の響き

令和7年9月20日（土） 於 アルカス SASEBO （長崎県佐世保市）

(5) 広報活動事業

- ・「トヨタコミュニティコンサート」の開催支援
- ・ホームページを中心とした SNS を活用した広報活動事業の推進
- ・国際交流活動の推進
- ・「JAO ミュージックライブラリー」の運用

以上

令和7年度事業報告書

付 属 明 細 書

I. 運営の部

1. 各種会議及びその決定事項

開催年月日	会議名	項 目
令和7年4月26日	令和7年度 第1回 通常理事会	1. 令和6年度事業報告案並びに決算案承認 2. 任期満了に伴う役員改選 3. JAOアドバイザー称号授与者について 4. 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告 5. 第26回日本マスターズおーけすとらキャンプについて 6. 第41回トヨタ青少年オーケストラキャンプの開催報告と次回の開催について 7. 資金運用の状況について
令和7年5月24日	令和7年度 定時社員総会	1. 令和6年度事業報告案並びに決算案承認 2. 令和7年度事業計画並びに収支予算報告 3. 第55回全国フェスティバルの開催地報告 4. 第54回全国フェスティバルの準備状況について
令和8年2月21日	令和7年度 第2回 通常理事会	1. 代表理事、業務執行理事らの業務執行状況報告 2. 役員任期満了について 3. 令和7年度事業実施状況並びに収支決算見込み報告 4. 令和8年度事業計画案並びに収支予算案承認 5. 令和8年度定時社員総会開催決議
令和8年3月27日	青少年オーケストラ 委員会役員会	1. 第42回TYOC東京大会の進捗状況報告 2. 日本青少年交響楽団特別演奏会の役割分担等 3. 第43・44回TYOC(大阪府堺市)開催計画報告 4. トヨタ・マスター・プレイヤーズGP見学について
令和8年3月28日	青少年オーケストラ 委員会総会	1. 第42回TYOC東京大会の進捗状況報告 2. 日本青少年交響楽団特別演奏会の役割分担等 3. 第43・44回TYOC(大阪府堺市)開催計画報告 4. トヨタ・マスター・プレイヤーズGP見学について

2. 社員の異動について

社員種別	員 数		増 減 数	備 考
	令和 8 年 3 月 31 日現在	令和 7 年 3 月 31 日現在		
正会員	129	129	0	3 増 3 減

平成 26 年度より平成 28 年度まで微増してきた会員数は、平成 29 年度以降減少が続いている。

令和 6 年度末に 2 団体が退会したため、令和 7 年度期首の会員数は 129 団体でスタートしました。期中に 2 団体の新規加盟があり、また初の準会員 1 団体の加盟もあり、期中に 132 団体となりました。

しかし 3 月末に正会員 2 団体と準会員 1 団体の退会がございました。これにより令和 7 年度末は 129 団体となりました。

法人の管理運営費用を会費収入に依存している本連盟にとっては、会員の維持・獲得を今後も最重点課題として取り組んでいきたい。

II. 事業の部

1. 全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は、JAO 設立の翌年（昭和 48 年）の豊橋大会を皮切りに、毎年全国各地を巡り開催しております JAO の主要事業です。

オーケストラ音楽を愛好する人々が集い、3 日間の日程の中で演奏技術の研鑽を積み、フェスティバルオーケストラとして演奏会を開催するほか、オーケストラ運営に資するためのフォーラムや研究討議等を行います。

<令和 7 年度実施内容>

名称	第 53 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル福井大会
期間	令和 7 年 9 月 12 日（金）～ 9 月 14 日（日）
会場	福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい
内容	① フェスティバルコンサート（9 月 14 日） ・オーケストラ A 指揮：坂入 健司郎 コンサートマスター：石上 真由子 曲目：リムスキー・コルサコフ／シェヘラザード

	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ B 指揮：井崎 正浩 コンサートマスター：ギオルギ・バブアゼ 曲目：サン=サーンス／交響曲第3番「オルガン付き」 <p>②運営協議会</p> <p style="text-align: center;">JAO 事業及び加盟団体の運営等に関する会議を開催</p> <p>参加者・出演者 247名、入場者 800名</p>
--	---

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成12年に第1回を開催した「高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ」(MOC)は、当初はシニア世代が交流を深めながら演奏技術を向上させるための研修会として開催しましたが、第12回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することもMOCの重要な役割となりました。

<令和7年度実施内容>

名称	高円宮殿下メモリアル第26回日本マスターズオーケストラキャンプ
期間	令和8年1月10日(土)～12日(月・祝)
会場	京都市北文化会館
内容	<p>講師：深山尚久氏 (Vn、武蔵野音楽大学教授、深山アカデミー主宰)</p> <p>香月圭佑 (Vc、玉川大学芸術学部非常勤講師、東京シティ・フィル フォアシュペーラー)</p> <p>原 徳子 (Vn、フリー、東邦音楽大学オーケストラ研究員)</p> <p>曲目：モーツァルト(横山淳編)／交響曲第36番「リンツ」</p> <p>ホルスト／セントポール組曲</p> <p>芥川也寸志／弦楽のための三楽章 (トリプティーク)</p> <p>※1月12日に「初春コンサート」を開催</p> <p>参加者：71名、入場者：188名</p>

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」(TYOC)は、全国から集まった青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに演奏技術を学ぶ合宿研修会です。現在は2年を1期とし、2年目には「日本青少年交響楽団特別演奏会」として成果を発表しています。次代を担う青少年が、プロの演奏家として第一線で活躍している講師陣の指導のもと、音楽技術の

向上を図り、各自の所属するオーケストラの未来のリーダーとなるべき資質を養います。

昭和 60 年の第 1 回から昨年度の第 40 回まで、TYOC から巣立った青少年は延べ 6,800 名を超え、我が国のアマチュアオーケストラの中核を担う人材として全国各地で活躍中です。

<令和 7 年度実施内容>

名称	第 42 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期間	令和 8 年 3 月 26 日 (木) ~ 29 日 (日)
会場	東京都渋谷区 「国立オリンピック記念青少年総合センター」 東京赤坂 サントリーホール
内容	指揮：キンボー・イシイ 講師：三浦章宏 (Vn 東京フィル) 他 16 名 ソリスト：松田華音 (Pf) 合唱：東京こどもアンサンブル 曲目：林望作詞/上田真樹作曲/童声合唱組曲「あめつちのうた」 ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲 シベリウス/交響詩「フィンランディア」 ブラームス / 交響曲第 2 番ニ長調 作品 73 ※第 42 回は第 19 期の 2 年目にあたり、3 月 29 日には日本青少年交響 楽団特別演奏会を開催した。 参加者：141 名、入場者 1750 名

4. 国民文化祭への参加・協力

昭和 62 年から開催されている国民文化祭「オーケストラの祭典」に対して、JAO は積極的に会員団体からの参加を呼びかけています。

<令和 7 年度実施計画>

名称	「オーケストラの祭典」オーケストラで奏でる平和の響き
期日	令和 7 年 9 月 20 日 (日)
会場	アルカス SASEBO 大ホール (長崎県佐世保市)
内容	曲目： 第 1 部 歓迎演奏：佐世保市民管弦楽団、県内の奏者、市内合唱団 團伊玖磨/西海賛歌 第 2 部 合同演奏：佐世保市民管弦楽、アマチュアオーケストラ奏者 (全国公募)、アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ有志 ラベル/亡き王女のためのパヴァーヌ

<p>スメタナ／「わが祖国」より「モルダウ」</p> <p>第3部 バレエの部：佐世保市民管弦楽団、アマチュアオーケストラ奏者 (全国公募)、市内バレエ団</p> <p>グラズノフ／バレエ音楽「四季」より「夏」「秋」</p> <p>チャイコフスキー／弦楽セレナーデ</p> <p>指揮：福田 隆</p> <p>オーケストラ参加者：26 団体、108 名、合唱 117 名、バレエ 90 名</p>	<p>入場者 1,500 名</p>
--	--------------------

5. トヨタコミュニティコンサートの開催支援

「トヨタコミュニティコンサート」(TCC) は、“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ自動車株式会社並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO 加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会で、公演回数は昭和 56 年の第 1 回開催から 1967 回を数えます。

<令和 7 年度実施状況>

- ・企画提案コース①；三枝音楽監督提案型
 フンパーディンク／オペラ「ヘンゼルとグレーテル」 1 公演
- ・企画提案コース②；JAO 提案型
 他の文化団体（オペラ協会、バレエ団）との共演 2 公演
- ・自由裁量コース；アマチュアオーケストラ起案の自由公演
 重点テーマ(SDGs)に沿った企画によるコンサート 40 公演
- ・販売店コース；販売店起案の地域での公演
 地域のトヨタ販売店からの起案により、対象地域の
 アマチュアオーケストラが協力してコンサートを実施 17 公演

6. ホームページを中心とした SNS を活用した広報活動の推進

JAO は、活動方針、年間事業、全国各地のオーケストラの活動状況、国際交流事業等、広範囲にわたる情報を収集し、ホームページにて提供しています。国内の地域活動はもちろんのこと、世界のアマチュアオーケストラに関するホームページにもリンクし、スマートフォンや SNS にも対応した内容として情報発信に努めています。

令和 7 年度も、会員及び提携する団体等からの情報収集に積極的に取り組み、収集した情報を Facebook、YouTube、更には TCC Instagram と連携を取りながら、随時広く一般に提供しました。

7. 国際交流活動の推進

JAO は、平成 10 年の「世界アマチュアオーケストラ連盟」(WFAO) 結成において中心的な役割を果たし、世界各国のアマチュアオーケストラの活動と交流を幅広く支援する組織として平成 19 年に設立された「認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟」(NPO-WFAO) と積極的に提携し、国際交流活動を推進しています。

今年度は、国際交流活動に詳しい理事及び学識経験者等参画いただき、今後の活動をどう進めていくのが JAO 及び加盟団体にとって有益か、業務執行理事も交え検討会を開催し、活動の方向性を討論しました。

このほか、例年実施している NPO-WFAO との連携により「第 53 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル福井大会」「第 42 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」への参加者の招聘、BDLO と JAO との提携による交流事業を推進しました。

8. 「JAO ミュージックライブラリー」の運用

「トヨタミュージックライブラリー」から引き継いだオーケストラ譜について、令和 4 年 2 月より「JAO ミュージックライブラリー」として運用を開始し、4 年目となりました。

今年度は定款で準会員制度を制定し少ない会費で加盟できることとなったことから、非加盟団体に対し会員としてのライブラリー特典を PR して、加盟団体を増やすきっかけづくりとなるよう取り組んでまいりました。

また旧 JAO ミュージックライブラリーで所有していた楽譜の見直しを進め、新たに現在のライブラリーへの追加を行ないました。なお令和 7 年 2 月に JAO 加盟団体様より貴重な所有楽譜 22 曲の寄贈がございました。有難うございました。

<令和 7 年度利用状況>

利用団体 (延べ) : 69 (うち JAO 加盟 39)、貸出し楽譜数 (延べ) : 88

以上

貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	31,722,075	1,646,063	30,076,012
未収金	12,215,000	17,070,260	▲ 4,855,260
前払金	38,771	577,988	▲ 539,217
流動資産合計	43,975,846	19,294,311	24,681,535
固定資産			
基本財産			
基本財産積立預金	4,400,000	4,400,000	0
基本財産投資有価証券	32,170,244	29,180,957	2,989,287
基本財産合計	36,570,244	33,580,957	2,989,287
特定資産			
特定費用準備資金	1,100,000	0	1,100,000
特定資産合計	1,100,000	0	1,100,000
その他の固定資産			
什器備品	9	9	0
敷金	617,924	617,924	0
その他の固定資産合計	617,933	617,933	0
固定資産合計	38,288,177	34,198,890	4,089,287
資産合計	82,264,023	53,493,201	28,770,822
II 負債の部			
流動負債			
未払金	4,640,501	3,396,315	1,244,186
預り金	32,147,164	2,666,647	29,480,517
流動負債合計	36,787,665	6,062,962	30,724,703
負債合計	36,787,665	6,062,962	30,724,703
III 正味財産の部			
指定正味財産	37,670,244	33,580,957	4,089,287
(うち基本財産への充当額)	(36,570,244)	(33,580,957)	(2,989,287)
(うち特定資産への充当額)	(1,100,000)	(0)	(1,100,000)
一般正味財産	7,806,114	13,849,282	▲ 6,043,168
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	45,476,358	47,430,239	▲ 1,953,881
負債及び正味財産合計	82,264,023	53,493,201	28,770,822

令和7年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

正味財産増減計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	970,993	396,083	574,910	
基本財産受取利息	8,850	22,025	▲13,175	定期預金利息
基本財産受配当	962,143	374,058	588,085	
② 受取入会金	60,000	60,000	0	
受取入会金	60,000	60,000	0	2団体
③ 受取会費	8,210,000	8,250,000	▲40,000	
正会員受取会費	6,560,000	6,600,000	▲40,000	131正会員、1準会員
賛助会員受取会費	1,650,000	1,650,000	0	17会員
④ 事業収益	18,775,560	17,028,500	1,747,060	
公1事業収益	18,775,560	17,028,500	1,747,060	参加料 等
⑤ 受取補助金等	22,791,000	20,000,000	2,791,000	
受取地方公共団体補助金	2,500,000	0	2,500,000	
受取民間助成金	20,291,000	20,000,000	291,000	トヨタ自動車、日芸文
⑥ 受取寄付金等	7,000,000	7,000,000	0	
受取寄付金	7,000,000	7,000,000	0	サーラコーポレーション
⑦ 雑収益	306,051	310,311	▲4,260	
受取利息	50,051	13,311	36,740	普通預金利息
雑収益	256,000	297,000	▲41,000	
経常収益計	58,113,604	53,044,894	5,068,710	
(2) 経常費用				
① 事業費	54,320,347	49,025,651	5,294,696	
役員報酬	5,080,000	2,880,000	2,200,000	
給料手当	2,312,000	2,112,000	200,000	
臨時雇用賃金	110,000	384,500	▲274,500	
法定福利費	1,157,338	755,670	401,668	
福利厚生費	9,062,641	9,508,676	▲446,035	
会議費	209,421	1,160,017	▲950,596	
旅費交通費	12,135,078	8,465,974	3,669,104	
通信運搬費	1,067,147	704,296	362,851	
消耗品費	1,063,703	1,678,124	▲614,421	
印刷製本費	1,223,080	688,243	534,837	
光熱水料費	146,819	152,724	▲5,905	
賃借料	11,037,802	10,979,220	58,582	
保険料	51,098	47,877	3,221	
諸謝金	8,141,655	7,166,528	975,127	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
広報費	389,400	1,289,500	▲900,100	
租税公課	5,900	8,200	▲2,300	
雑費	1,127,265	1,044,102	83,163	
② 管理費	8,736,425	6,398,687	2,337,738	
役員報酬	1,270,000	720,000	550,000	
給料手当	578,000	528,000	50,000	
法定福利費	498,489	228,043	270,446	
福利厚生費	149,860	44,796	105,064	
会議費	1,032,624	928,993	103,631	
旅費交通費	2,293,643	2,009,277	284,366	
通信運搬費	191,402	192,892	▲1,490	
消耗品費	151,789	123,192	28,597	
印刷製本費	294,288	257,400	36,888	2025年度版JA0関係資料
光熱水料費	36,706	38,182	▲1,476	
賃借料	711,654	723,048	▲11,394	
保険料	5,663	5,663	0	
租税公課	325,800	0	325,800	
雑費	1,196,507	599,201	597,306	
経常費用計	63,056,772	55,424,338	7,632,434	
当期経常増減額	▲4,943,168	▲2,379,444	▲2,563,724	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
基本財産預金取崩振替額	0	214,200	▲214,200	
経常外収益計	0	214,200	▲214,200	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	214,200	▲214,200	
当期一般正味財産増減額	▲4,943,168	▲2,165,244	▲2,777,924	
一般正味財産期首残高	13,849,282	16,014,526	▲2,165,244	
一般正味財産期末残高	8,906,114	13,849,282	▲4,943,168	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産評価損益	2,989,287	▲604,843	3,594,130	
一般正味財産への振替額	0	▲214,200	214,200	
当期指定正味財産増減額	2,989,287	▲819,043	3,808,330	
指定正味財産期首残高	33,580,957	34,400,000	▲819,043	
指定正味財産期末残高	36,570,244	33,580,957	2,989,287	
III 正味財産期末残高	45,476,358	47,430,239	▲1,953,881	

正味財産増減計算書 内訳表

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	970,993	0	970,993
基本財産受取利息	8,850	0	8,850
基本財産受配当	962,143	0	962,143
② 受取入会金	0	60,000	60,000
受取入会金		60,000	60,000
③ 受取会費	0	8,210,000	8,210,000
正会員受取会費		6,560,000	6,560,000
賛助会員受取会費		1,650,000	1,650,000
④ 事業収益	18,775,560	0	18,775,560
事業収益	18,775,560		18,775,560
⑤ 受取補助金等	22,791,000	0	22,791,000
受取地方公共団体補助金	2,500,000		2,500,000
受取民間助成金	20,291,000		20,291,000
⑥ 受取寄付金等	7,000,000	0	7,000,000
受取寄付金	7,000,000		7,000,000
⑦ 雑収益	71,494	234,557	306,051
受取利息	1,494	48,557	50,051
雑収益	70,000	186,000	256,000
経常収益計	49,609,047	8,504,557	58,113,604
(2) 経常費用			
① 事業費	54,320,347		54,320,347
役員報酬	5,080,000		5,080,000
給料手当	2,312,000		2,312,000
臨時雇用賃金	110,000		110,000
法定福利費	1,157,338		1,157,338
福利厚生費	9,062,641		9,062,641
会議費	209,421		209,421
旅費交通費	12,135,078		12,135,078
通信運搬費	1,067,147		1,067,147
消耗品費	1,063,703		1,063,703
印刷製本費	1,223,080		1,223,080
光熱水料費	146,819		146,819
賃借料	11,037,802		11,037,802
保険料	51,098		51,098
諸謝金	8,141,655		8,141,655

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
広報費	389,400		389,400
租税公課	5,900		5,900
雑費	1,127,265		1,127,265
② 管理費		8,736,425	8,736,425
役員報酬		1,270,000	1,270,000
給料手当		578,000	578,000
法定福利費		498,489	498,489
福利厚生費		149,860	149,860
会議費		1,032,624	1,032,624
旅費交通費		2,293,643	2,293,643
通信運搬費		191,402	191,402
消耗品費		151,789	151,789
印刷製本費		294,288	294,288
光熱水料費		36,706	36,706
賃借料		711,654	711,654
保険料		5,663	5,663
租税公課		325,800	325,800
雑費		1,196,507	1,196,507
経常費用計	54,320,347	8,736,425	63,056,772
当期経常増減額	▲4,711,300	▲231,868	▲4,943,168
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		0
当期経常外増減額	0		0
当期一般正味財産増減額	▲4,711,300	▲231,868	▲4,943,168
一般正味財産期首残高	▲13,031,484	26,880,766	13,849,282
一般正味財産期末残高	▲17,742,784	26,648,898	8,906,114
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	2,989,287		2,989,287
当期指定正味財産増減額	2,989,287		2,989,287
指定正味財産期首残高	33,580,957		33,580,957
指定正味財産期末残高	36,570,244		36,570,244
III 正味財産期末残高	18,827,460	26,648,898	45,476,358

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の費用化基準及び評価方法
満期保有目的であるが、市場価格のあるものについて、時価によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、定額法により償却する。ただし、取得した翌年度より償却を開始する。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式を採用している。

2. 会計方針の変更

変更なし 「公益法人会計基準」(平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産				
定期預金	4,400,000	0	0	4,400,000
投資有価証券	29,180,957	2,989,287		32,170,244
小 計	33,580,957	2,989,287	0	36,570,244
特定資産				
定期預金	0	1,100,000	0	1,100,000
小 計	0	1,100,000	0	1,100,000
合 計	33,580,957	4,089,287	0	37,670,244

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	4,400,000	(4,400,000)		
投資有価証券	32,170,244	(32,170,244)		
小計	36,570,244	(36,570,244)	(0)	(0)
特定資産				
定期預金	1,100,000	(1,100,000)		
小計	1,100,000	(1,100,000)	(0)	(0)
合 計	37,670,244	(37,670,244)	(0)	(0)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什器備品	4,301,862	4,301,853	9
合 計	4,301,862	4,301,853	9

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の残額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の残額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取民間助成金	民間企業	0	2,000,000	2,000,000	0	—
受取民間助成金	独立行政法人	0	1,000,000	1,000,000	0	—
受取民間助成金	民間企業	0	16,291,000	16,291,000	0	—
受取民間助成金	民間企業	0	1,000,000	1,000,000	0	—
受取民間寄付金	民間企業	0	7,000,000	7,000,000	0	—
合 計		0	27,291,000	27,291,000	0	

財 産 目 録

(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	262,387
	預金	普通預金		
		三菱UFJ銀行豊橋支店	運転資金として	30,123,487
		SMBC日興証券豊橋支店	公益事業用資金として	1,336,201
	未収金		協賛金他	12,215,000
	前払金			38,771
流動資産合計				43,975,846
(固定資産)	基本財産	預金	定期預金	公益目的事業に不可欠な特定の財産
			三菱UFJ銀行豊橋支店	4,400,000
	特定資産	投資有価証券	債券・ラップ	公益目的事業に不可欠な特定の財産
			SMBC日興証券豊橋支店	32,170,244
		預金	定期預金	退職給付引当資産
		三菱UFJ銀行豊橋支店		1,100,000
	その他固定資産	什器備品	保管庫・机・椅子等	9
			敷金	事務所（光陽ビル）敷金
固定資産合計				38,288,177
資産合計				82,264,023
(流動負債)	未払金		TYOC経費他	4,640,501
		預り金	令和8年度TCC支援金他	32,147,164
流動負債合計				36,787,665
負債合計				36,787,665
正味財産合計				45,476,358